

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月31日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立鳥居原ふれあいの館
指定管理者の名称	有限会社鳥居原
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立鳥居原ふれあいの館条例
施設の設置目的	鳥屋地域の優れた自然環境を生かした産業振興を図り、地域活性化に資するとともに、農林産物等の展示直売及び市民の交流を促進する施設として設置。
施設概要	所在地: 相模原市緑区鳥屋1674番地 開館年度: 平成12年4月 規模: 敷地面積2,748.87㎡(うち管理面積2,089.99㎡)、延床面積470.36㎡ 構造: 木造平屋建 主な施設: 直売所、食材提供室、展示室・ホール、研修室
施設所管課の名称	環境経済局 経済部 津久井地域経済課

2 管理実績							
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
利用者数合計(人)	131,472	129,572	135,676	135,310	134,005		
施設の利用料金合計(円)	35,800	31,000	46,300	76,800	148,800		
()							
()							
()							

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	レジ通過者数
指標式と指標の説明	地場野菜や地元特産品を買い求めるお客様の人数

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(単位)	175,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	
実績値(単位)	131,472	129,572	135,676	135,310	134,005		
達成度(%)	75.1%	90.0%	94.2%	94.0%	93.1%	0.0%	

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	B	売上額、レジ通過者数共に前年度と比べ減少した。昨年度については、天候不順が続く、野菜の直売品数が少ない状況も見受けられた。天候に左右されにくく安定的に野菜が提供できるよう生産者・出荷者の拡大を検討していただきたい。
事業・業務の履行状況	S	「あぐりんずつくい」(JA津久井郡農産物直売所)によもぎだんごや山菜おこわを出荷開始したことは売上の拡大に繋がっているため評価できる。身障者用トイレの荷物置き場の設置やホームページの更新などお客様のニーズを把握し、お客様から愛され続ける施設運営に努力されていることは評価できる。今後も、更なる充実に向けた努力に期待する。
利用者満足度の向上度	B	夏季と冬季に実施したアンケート調査の結果や意見箱の要望などから、農産物の販売、食事、スタッフの対応などに対する満足度で「概ね満足している」との結果は評価できる。更なる満足度の向上のため、要望や意見に対し、今後も誠意を持って対応してほしい。
財務状況の適正性	S	売上額、レジ通過者数共に前年度と比べ減少している。原因を分析し、売上の増加、供給の充実化や適切なコスト管理などを図り、経営の安定化に努めていただきたい。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「B」または「C」がつき、「D」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「D」と「E」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「D」と「E」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>天候に左右されず安定的に野菜が提供できるよう検討していただきたい。 新たな商品の開発、販路の拡大など売上の増加に努めていただきたい。 お客様のニーズを把握し、今後もサービスの充実に向けて努力していただきたい。</p>
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年2月19日(月)
コメント	<p>非常に継続的なご苦勞をずっとやられていることがよくわかる。いろいろな工夫で成果が出ている。 東京オリンピック、パラリンピック、リニアの車両基地が来るということで、いかに観光に結びつけて知名度を上げていただきたい。 たくさんの自主事業をやられているが、どのように季節変動要因を抑えるかが大事である。 鳥居原ふれあいの館のパンフレットについて、紹介方法は悪くないので、あるメニューをいかに活かすかを検討していただきたい。 食事や日本の伝統芸能を海外の方々に伝えるために努力していただきたい。</p>